1　計画量一覧

（1）総括表

区分						単位	次期整備管理計画 計	Ⅰ分期	Ⅱ分期	摘要
森林整備	造林	更新	人工林	主伐	実面積	(ha)	563	303	260	
					（区域面積）		665	357	308	
				植栽等	実面積	(ha)	634	315	319	
					（区域面積）		769	364	405	
			天然林	主伐	実面積	(ha)	0	0	0	
					（区域面積）		0	0	0	
				植栽等	実面積	(ha)	0	0	0	
					（区域面積）		0	0	0	
			計	主伐	実面積	(ha)	563	303	260	
					（区域面積）		665	357	308	
				植栽等	実面積	(ha)	634	315	319	
					（区域面積）		769	364	405	
		保育（間伐）	人工林	保育伐等		(ha)	5,377	2,550	2,827	
				その他			0	0	0	
			天然林	植栽木等、天然木		(ha)	18	4	14	
				その他			0	0	0	
			計			(ha)	5,395	2,554	2,841	
	路網（開設）					(km)	11.4	11.4	0.0	

木材利用	人工林	(千m3)	464.3	236.3	228.0	
	天然林	(千m3)	1.0	0.2	0.8	
	計	(千m3)	465.3	236.5	228.8	

（2）内訳表

区分						単位	総計		Ⅰ分期		Ⅱ分期		摘要
							実面積	（区域面積）	実面積	（区域面積）	実面積	（区域面積）	
森林整備	造林	更新	人工林	主伐		(ha)	563	665	303	357	260	308	
				植栽（単層林）		(ha)	584	584	297	297	287	287	
				植栽（複層林）	初回	(ha)	20	65	7	23	13	42	
					2回目以降	(ha)	30	120	11	44	19	76	
				刈出し		(ha)	0	0	0	0	0	0	
				かき起し		(ha)	0	0	0	0	0	0	
				計（主伐を除く）		(ha)	634	769	315	364	319	405	
			天然林	主伐		(ha)	0	0	0	0	0	0	
				植栽（複層林）	初回	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					2回目以降		0	0	0	0	0	0	
				刈出し		(ha)	0	0	0	0	0	0	
				かき起し		(ha)	0	0	0	0	0	0	
				計（主伐含む）		(ha)	0	0	0	0	0	0	
		間伐	人工林	保育伐	未搬出	(ha)	34	34	27	27	7	7	
					搬出	(ha)	187	187	109	109	78	78	
					計	(ha)	221	221	136	136	85	85	
				立木販売単独		(ha)	5,156	5,156	2,414	2,414	2,742	2,742	
				その他		(ha)	0	0	0	0	0	0	
				計		(ha)	5,377	5,377	2,550	2,550	2,827	2,827	
					立販再掲	(ha)	5,156	5,156	2,414	2,414	2,742	2,742	
			天然林	植栽木等	保育伐 未搬出	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					搬出	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					計	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					立木販売単独	(ha)	18	18	4	4	14	14	
					計	(ha)	18	18	4	4	14	14	
				天然木	広葉樹林改良 未搬出	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					搬出	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					計	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					立木販売単独	(ha)	0	0	0	0	0	0	
					計	(ha)	0	0	0	0	0	0	
				その他		(ha)	0	0	0	0	0	0	
				計		(ha)	18	18	4	4	14	14	
					立販再掲	(ha)	18	18	4	4	14	14	

区分					単位	計	Ⅰ分期	Ⅱ分期	摘要
森林整備	路網	開設	林道		(km)	0.0	0.0	0.0	
			林業専用道		(km)	11.4	11.4	0.0	
			施業道		(km)	0.0	0.0	0.0	
			森林作業道		(km)	0.0	0.0	0.0	
			計		(km)	11.4	11.4	0.0	
		改良	林道	橋梁	（箇所）	0	0	0	
				局部保全	（箇所）	0	0	0	
				法面保全	（箇所）	0	0	0	
				安全対策	（箇所）	0	0	0	
				計	（箇所）	0	0	0	

区分				単位	計			Ⅰ分期			Ⅱ分期			摘要
					計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	
木材利用	人工林	主伐		（千m3）	144.4	119.8	24.6	81.2	67.7	13.5	63.2	52.1	11.1	
		間伐		（千m3）	319.9	316.1	3.8	155.1	151.3	3.8	164.8	164.8	0.0	
		その他		（千m3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		計		（千m3）	464.3	435.9	28.4	236.3	219.0	17.3	228.0	216.9	11.1	
	天然林	主伐		（千m3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		間伐	植栽木等	（千m3）	1.0	1.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.8	0.8	0.0	
			天然木	（千m3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		その他		（千m3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		計		（千m3）	1.0	1.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.8	0.8	0.0	
	計			（千m3）	465.3	436.9	28.4	236.5	219.2	17.3	228.8	217.7	11.1	

（3）伐採計画

単位　面積:ha、材積:千m3

区分					面積						材積								
					計		Ⅰ分期		Ⅱ分期		計			Ⅰ分期			Ⅱ分期		
					実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)	実面積	(区域面積)	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹
人工林	主伐	単層林施業			529	(529)	285	(285)	244	(244)	135.1	112.0	23.1	76.3	63.6	12.7	58.8	48.4	10.4
		複層林施業			34	(136)	18	(72)	16	(64)	9.3	7.8	1.5	4.9	4.1	0.8	4.4	3.7	0.7
		合計			563	(665)	303	(357)	260	(308)	144.4	119.8	24.6	81.2	67.7	13.5	63.2	52.1	11.1
	間伐	道有林野事業	保育伐	未搬出	31	(31)	24	(24)	7	(7)	1.6	1.6	0.0	1.2	1.2		0.4	0.4	
				搬出	166	(166)	101	(101)	65	(65)	9.5	9.5	0.0	6.0	6.0		3.5	3.5	
			小計		197	(197)	125	(125)	72	(72)	11.1	11.1	0.0	7.2	7.2	0.0	3.9	3.9	0.0
			立木販売単独		5,156	(5,156)	2,414	(2,414)	2,742	(2,742)	307.2	303.4	3.8	147.3	143.5	3.8	159.9	159.9	
		道有林野事業計			5,353	(5,353)	2,539	(2,539)	2,814	(2,814)	318.3	314.5	3.8	154.5	150.7	3.8	163.8	163.8	0.0
		治山事業	本数調整伐	未搬出	3	(3)	3	(3)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
				搬出	21	(21)	8	(8)	13	(13)	3.2	3.2	0.0	1.8	1.8		1.4	1.4	
		治山事業計			24	(24)	11	(11)	13	(13)	3.2	3.2	0.0	1.8	1.8	0.0	1.4	1.4	0.0
		合計			5,377	(5,377)	2,550	(2,550)	2,827	(2,827)	321.5	317.7	3.8	156.3	152.5	3.8	165.2	165.2	0.0
	その他				0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
	合計				5,940	(6,042)	2,853	(2,907)	3,087	(3,135)	465.9	437.5	28.4	237.5	220.2	17.3	228.4	217.3	11.1
天然林	主伐	複層林施業			0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
	間伐	植栽木等	道有林野事業	保育伐	未搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
					搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
				小計		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				立木販売単独		18	(18)	4	(4)	14	(14)	1.0	1.0	0.0	0.2	0.2		0.8	0.8	
			道有林野事業計			18	(18)	4	(4)	14	(14)	1.0	1.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.8	0.8	0.0
			治山事業	本数調整伐	未搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
					搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
			治山事業計			0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		合計				18	(18)	4	(4)	14	(14)	1.0	1.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.8	0.8	0.0
		天然木	広葉樹林改良		未搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
					搬出	0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
				小計		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			立木販売単独			0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
		合計				0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計					18	(18)	4	(4)	14	(14)	1.0	1.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.8	0.8	0.0
	その他					0	(0)		(0)		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		
	合計					18	(18)	4	(4)	14	(14)	1.0	1.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.8	0.8	0.0
総計						5,958	(6,060)	2,857	(2,911)	3,101	(3,149)	466.9	438.5	28.4	237.7	220.4	17.3	229.2	218.1	11.1

（4）造林計画

ア　造林面積

単位　面積:ha

区分						造林面積 計 実面積	造林面積 計 （区域面積）	Ⅰ分期 実面積	Ⅰ分期 （区域面積）	Ⅱ分期 実面積	Ⅱ分期 （区域面積）
道有林野事業	人工造林	人工林	植栽	単層林		584	(584)	297	(297)	287	(287)
	樹下植栽			複層林	初回	0	(0)				
					2回目以降	30	(120)	11	(44)	19	(76)
			小　計			614	(704)	308	(341)	306	(363)
	改良		刈出し等	刈出し		0	(0)				
				かき起し		0	(0)				
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
		計				614	(704)	308	(341)	306	(363)
		天然林	植栽	複層林	初回	0	(0)				
					2回目以降	0	(0)				
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
			刈出し等	刈出し		0	(0)				
				かき起し		0	(0)				
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
		計				0	(0)	0	(0)	0	(0)
合　計						614	(704)	308	(341)	306	(363)
治山事業	その他	人工林	植栽	単層林		0	(0)		(0)		(0)
				複層林	初回	20	(65)	7	(23)	13	(42)
					2回目以降	0	(0)				
			小　計			20	(65)	7	(23)	13	(42)
			刈出し等	刈出し		0	(0)				
				かき起し		0	(0)				
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
		計				20	(65)	7	(23)	13	(42)
		天然林	植栽	複層林	初回	0	(0)				
					2回目以降	0	(0)				
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
			刈出し等	刈出し		0	(0)				
				かき起し		0	(0)				
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
		計				0	(0)	0	(0)	0	(0)
合　計						20	(65)	7	(23)	13	(42)
合計		人工林	植栽	単層林		584	(584)	297	(297)	287	(287)
				複層林	初回	20	(65)	7	(23)	13	(42)
					2回目以降	30	(120)	11	(44)	19	(76)
			小　計			634	(769)	315	(364)	319	(405)
			刈出し等	刈出し		0	(0)	0	(0)	0	(0)
				かき起し		0	(0)	0	(0)	0	(0)
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
		計				634	(769)	315	(364)	319	(405)
		天然林	植栽	複層林	初回	0	(0)	0	(0)	0	(0)
					2回目以降	0	(0)	0	(0)	0	(0)
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
			刈出し等	刈出し		0	(0)	0	(0)	0	(0)
				かき起し		0	(0)	0	(0)	0	(0)
			小　計			0	(0)	0	(0)	0	(0)
		計				0	(0)	0	(0)	0	(0)
総計						634	(769)	315	(364)	319	(405)

イ　植栽樹種別造林計画（Ⅰ分期のみ）

単位　本数:千本

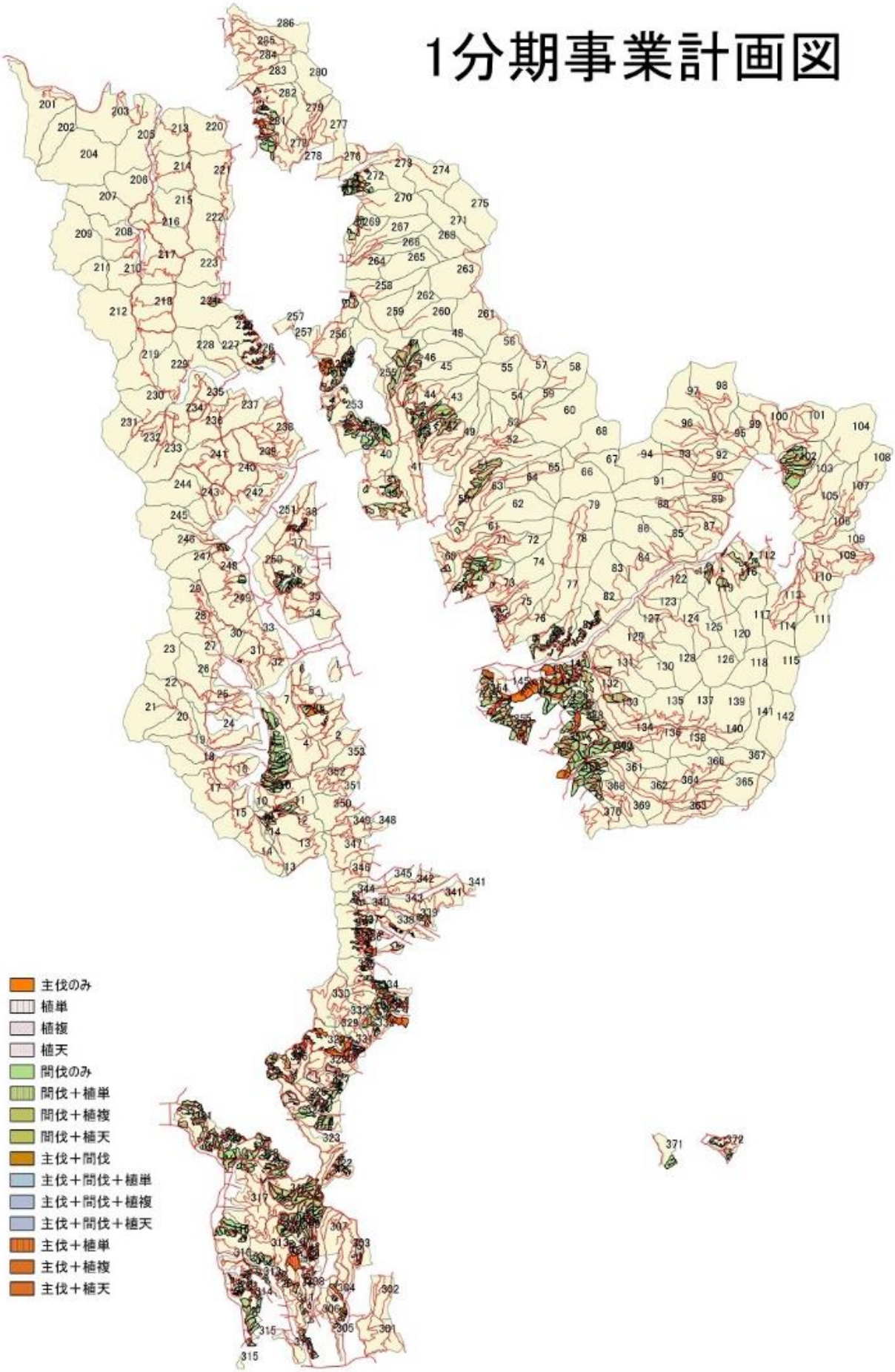
		全体 本数	全体 うちコンテナ苗	単層林 本数	単層林 うちコンテナ苗	複層林 本数	複層林 うちコンテナ苗
道有林野事業	ﾄﾞﾏﾂ	380	210	375	210	5	
	ｶﾗﾏﾂ	292	0	272		20	
	ｸﾞｲﾏﾂ雑種F1	110	0	110			
	その他	0	0				
	小計	782	210	757	210	25	0
治山事業	ﾄﾞﾏﾂ	0	0				
	ｶﾗﾏﾂ	0	0				
	ｸﾞｲﾏﾂ雑種F1	0	0				
	その他	0	0				
	小計	0	0	0	0	0	0
合計	ﾄﾞﾏﾂ	380	210	375	210	5	0
	ｶﾗﾏﾂ	292	0	272	0	20	0
	ｸﾞｲﾏﾂ雑種F1	110	0	110	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	合計	782	210	757	210	25	0

（5）路網計画

単位　開設延長:km、改良:箇所、面積:ha

区分			路線名称	延長 全体	Ⅰ分期	Ⅱ分期	関係林班
開設	林道			0.0			
			小　計	0.0	0.0	0.0	
	林業専用道		322林班線	1.4	1.4		
			望湖台線	1.6	1.6		
			咲来線	1.2	1.2		
			シアッシリ線	4.8	4.8		
			10林班線	2.4	2.4		
				0.0			
				0.0			
			小　計	11.4	11.4	0.0	
	施業道	新設		0.0			
				0.0			
				0.0			
			小　計	0.0	0.0	0.0	
		廃道新設		0.0			
				0.0			
				0.0			
			小　計	0.0	0.0	0.0	
		施業道計		0.0	0.0	0.0	
	森林作業道			0.0			
				0.0			
				0.0			
				0.0			
			小　計	0.0	0.0	0.0	
	開設計			11.4	11.4	0.0	
改良	林道	橋梁改良		0			
				0			
				0			
				0			
				0			
			小　計	0	0	0	
		局部保全		0			
				0			
				0			
			小　計	0	0	0	
		法面保全		0			
				0			
				0			
			小　計	0	0	0	
		安全対策		0			
				0			
				0			
			小　計	0	0	0	
	林道改良計			0	0	0	

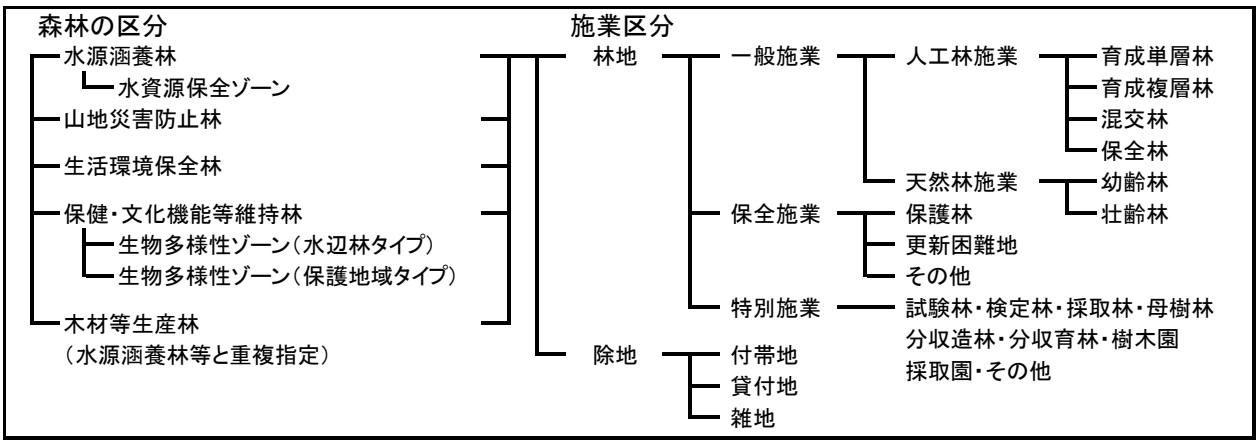
２　事業箇所図（前期）


1分期事業計画図
主伐のみ
植単
植複
植天
間伐のみ
間伐＋植単
間伐＋植複
間伐＋植天
主伐＋間伐
主伐＋間伐＋植単
主伐＋間伐＋植複
主伐＋間伐＋植天
主伐＋植単
主伐＋植複
主伐＋植天

３　施業仕組

（１）施業仕組とは

施業仕組とは、森林の取扱い方法の単位のことです。施業仕組は「森林の区分」と「施業区分」から成り、道有林野の整備管理上、独自に施業方法を森林の区分別に分類したもので、適切で効率的な森林施業を行っていくための基礎となるものです。



（２）施業仕組の区分

ア　森林の区分

それぞれの森林において、期待する機能に応じた森林の区分を行います。設定に当たっては、市町村と連携して地域の特徴に応じた森林の区分を行うこととし、全域を公益的機能を重視する森林に区分するとともに、人工林がまとまっている区域については、木材等生産林を水源涵（かん）養林などの公益的機能別施業森林と重複して設定します。

期待する機能に応じた森林の区分			森林の種類	森林の基本的な取扱い	面積: ha 下段:(割合)	摘要
水源涵（かん）養林			水源かん養保安林、干害防備保安林など法令による制限林等	適切な保育・間伐を通じて下層植生や樹木の根を発達させる施業を行うとともに、伐採に伴う裸地面積の縮小及び分散を図る施業を推進	51,715ha （63%）	管理区全域をカバー
	水資源保全ゾーン		水道取水施設の上流に位置する森林等	伐採に伴う裸地面積の縮小及び分散、植栽による機能の早期回復並びに濁水の発生を回避する施業を推進	10,898ha （13%）	
山地災害防止林			土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林など法令による制限林や林地保全林等	伐採に伴う裸地面積の縮小及び裸地化の回避を図る施業を推進するとともに、必要に応じて治山施設の設置を推進	33,828ha （41%）	
生活環境保全林			防風保安林、防霧保安林など法令による制限林や環境緑地保護地区等	風、霧、騒音等の防備や大気の浄化のために有効かつ抵抗性のある森林の構成を維持することを基本とし、伐採面積の縮小及び伐採箇所の分散、択伐等を推進	0ha （0%）	
保健・文化機能等維持林			自然公園特別保護地区など法令による制限林、保護林など道有林独自の自然環境を保全する森林等	森林の構成を維持して樹種の多様性を増進することを基本とし、伐採面積の縮小及び伐採箇所の分散、択伐等を推進	12,577ha （15%）	
	生物多様性ゾーン	水辺林タイプ	生物多様性保全が特に求められる河川両岸の森林等	原則として自然の推移に委ね、必要に応じて濁水の発生を回避する施業を推進	11,149ha （14%）	
		保護地域タイプ	生物多様性保全が特に求められる保護林等	原則として自然の推移に委ね、必要に応じて野生生物の生息・生育地の確保に配慮した施業を推進	1,011ha （1%）	
木材等生産林			林木の生育に適した森林で路網の整備状況から効率的な施業が可能な森林等	計画的な主伐や再造林等の施業を積極的に進めることを基本とし、路網整備や機械化等により効率的な森林整備を推進	18,718ha （23%）	重複

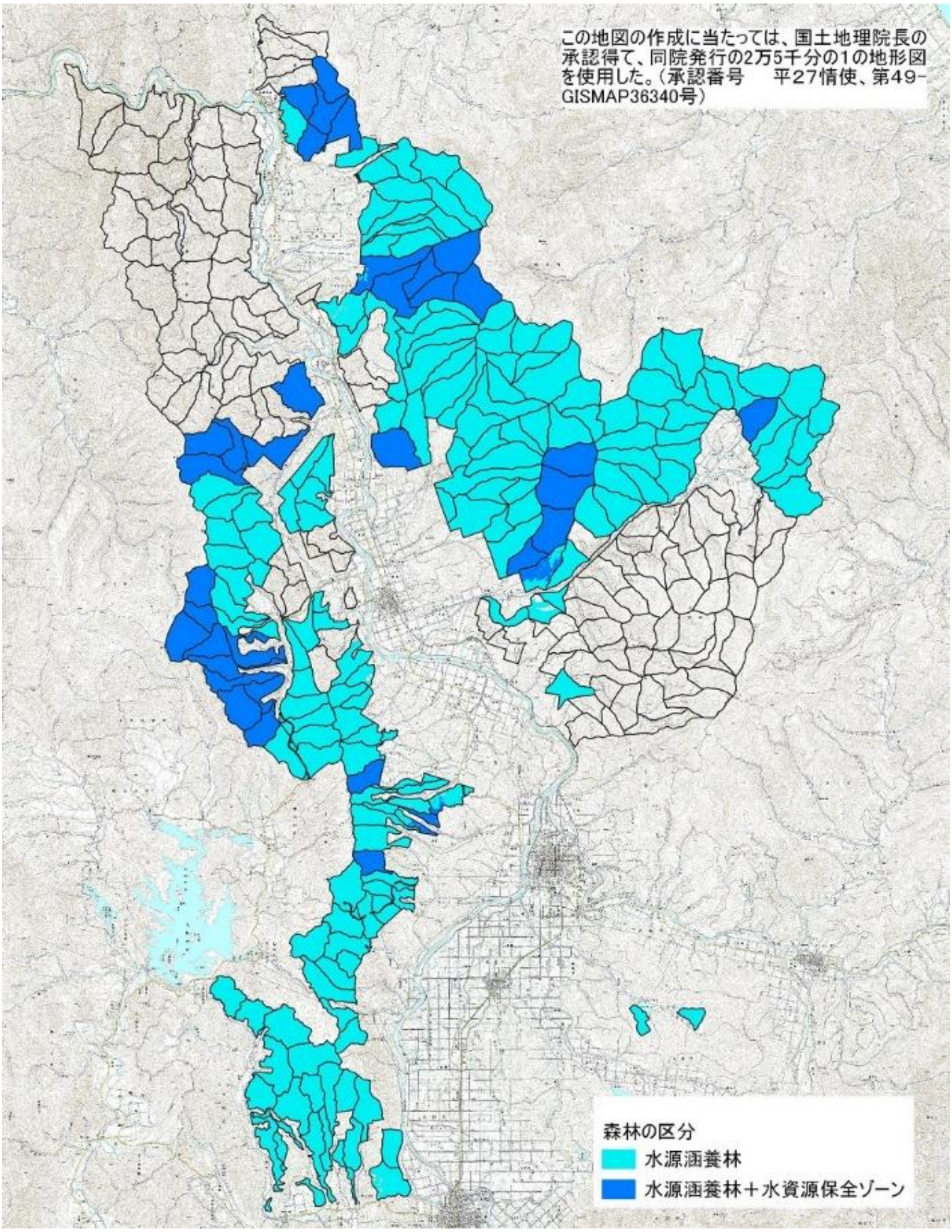
イ 施業区分

施業区分は、主に樹種、蓄積、密度等、その林分構成及び施業上の目的等に着目して分類したものです。

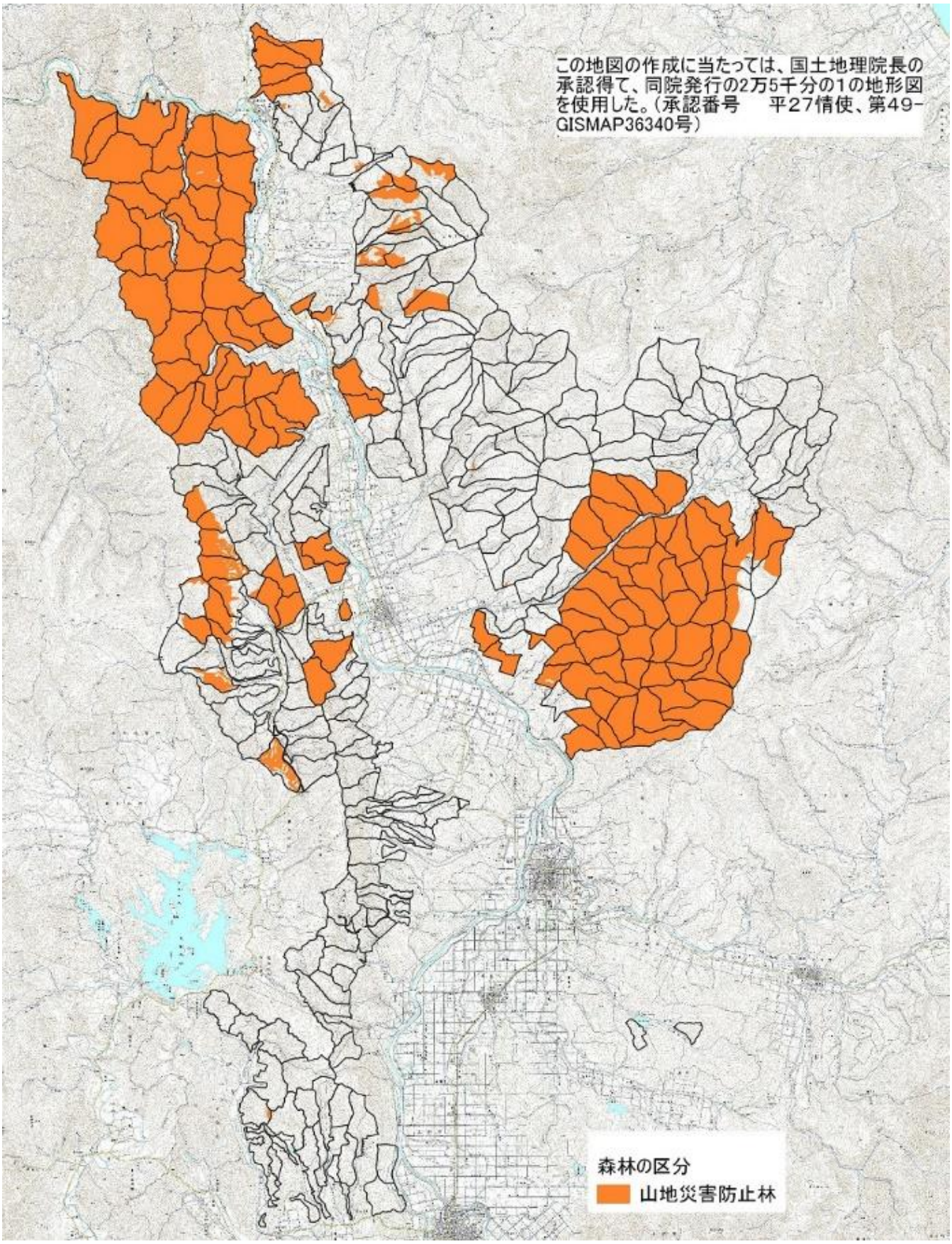
施業区分						内容(編入基準)
林地	一般施業	人工林施業	人工林	単層林施業	通常伐期	通常伐期により皆伐-再造林を行う人工林
					長伐期	長伐期により皆伐-再造林を行う人工林
				複層林施業		帯状伐採や択伐と植栽により2段以上の樹冠層を持つよう誘導する人工林
				混交林施業		間伐により植栽木(主に針葉樹)と天然木(主に広葉樹)が適度に混交した状態に誘導する人工林
				保全林		原則として施業を行わない人工林。
			人工林上木			人工林内に現存する天然木(前生樹、植栽時又は植栽後に発生した天然更新木)
			保護帯			人工林内の保護、森林生態系の多様性の維持等を目的とし、隣接する人工林と一体として施業することが適当な天然林
			無立木地			伐採跡地等
		天然林施業	幼齢林	通常		一定の間隔を置きながら施業を実施する幼齢林(幼齢林とは、山火再生林、萌芽林、かき起し施行地等、発生年度がほぼ同一時期で、保育(間伐)が施業の主体となるものをいう)
				長期		通常よりも長い間隔の設定により、施業を実施する幼齢林
				その他	当面保存	一定の間隔での施業を避け、当面、資源の回復を図る幼齢林
					将来有望	資源の内容から今後施業の対象となり得る幼齢林
					検討中	資源の推移を見ながら今後の施業を判断する必要がある幼齢林
					保全	原則として施業を行わない幼齢林
			壮齢林	通常		一定の間隔を置きながら施業を実施する壮齢林(壮齢林とは幼齢林以外)
				長期		通常年よりも長い間隔の設定により、施業を実施する壮齢林
				その他	当面保存	一定の間隔での施業を避け、当面、資源の回復を図る壮齢林
					将来有望	資源の内容から今後施業の対象となり得る壮齢林
					検討中	資源の推移を見ながら今後の施業を判断する必要がある壮齢林
					保全	原則として施業を行わない壮齢林
	保全施業	保護林				道有林野保護林設定要領(昭和50年10月27日林二第219号)に基づく保護林
		更新困難地				自然条件が厳しく、伐採後の更新及び森林の回復がきわめて困難な森林
		その他(上記以外の保全施業)				上記以外の保全施業を行う必要がある森林
	特別施業	試験林				施業試験を行っている森林
		検定林				育種種苗の成長、形質、耐寒性等の検定を行っている森林
		採種林				母樹林以外の森林で、種子の採取を目的とした森林(林木育種事業により設定された遺伝子保存林を含む)
		母樹林				有用広葉樹種子採取源整備事業により有用広葉樹の種子採取を目的として指定された森林
		分収造林				分収造林契約に係る森林
		分収育林				分収育林契約に係る森林
		樹木園				地域住民に対する森林・林業の啓発等のため、道有林創設50周年記念事業又は開道100年記念事業により設けた園地
		採種園				育種種子の採取を目的として設けた園地
		その他				露天掘り復旧跡地など
除地	付帯地					道路敷地(施業道以下は除く)
	貸付地					鉱業敷地、電線敷地等の貸付地
	雑地					沢敷地(5m幅以上)、開放見込地

４　森林の区分図

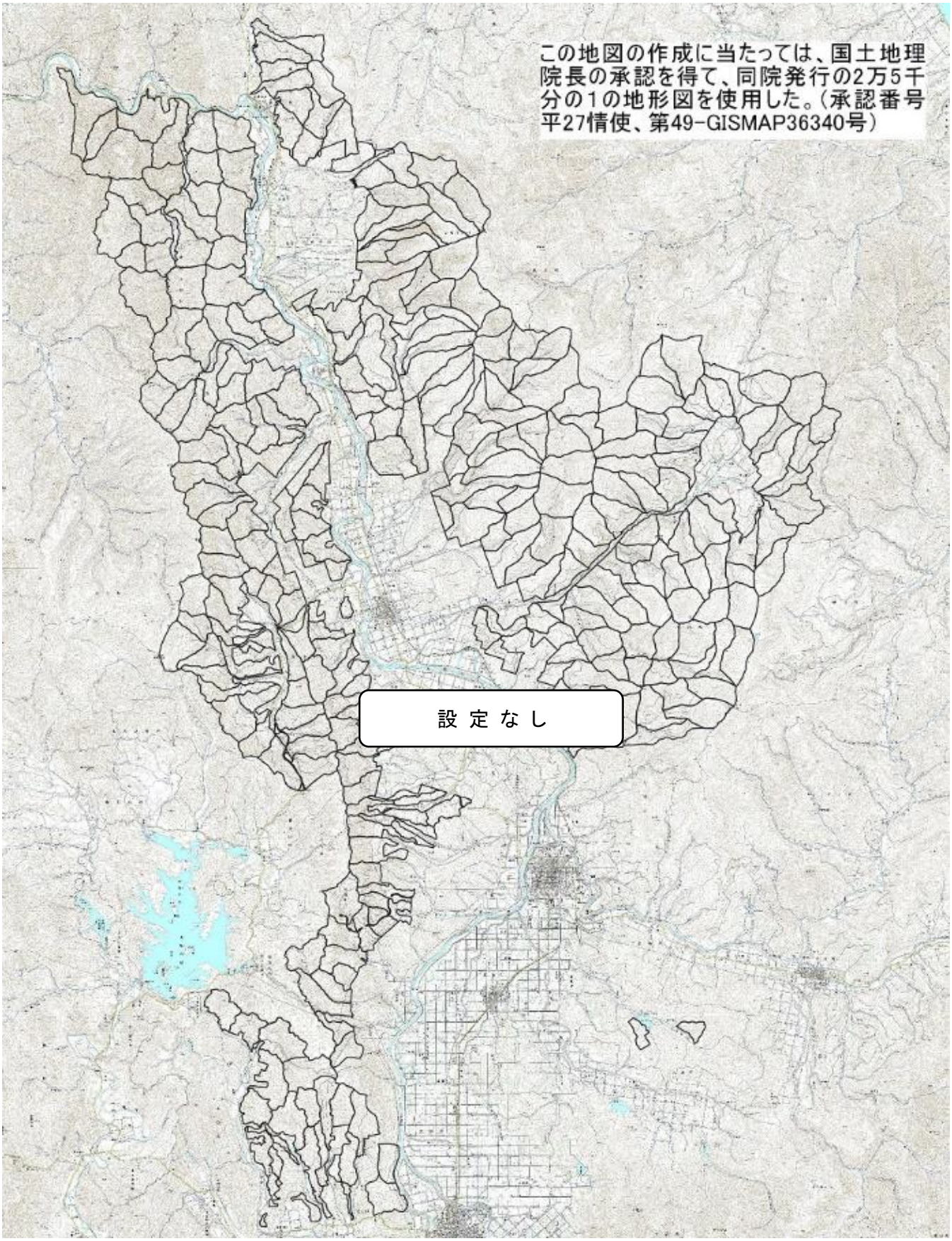
（1） 水源涵養林並びに水資源保全ゾーンの重複区域



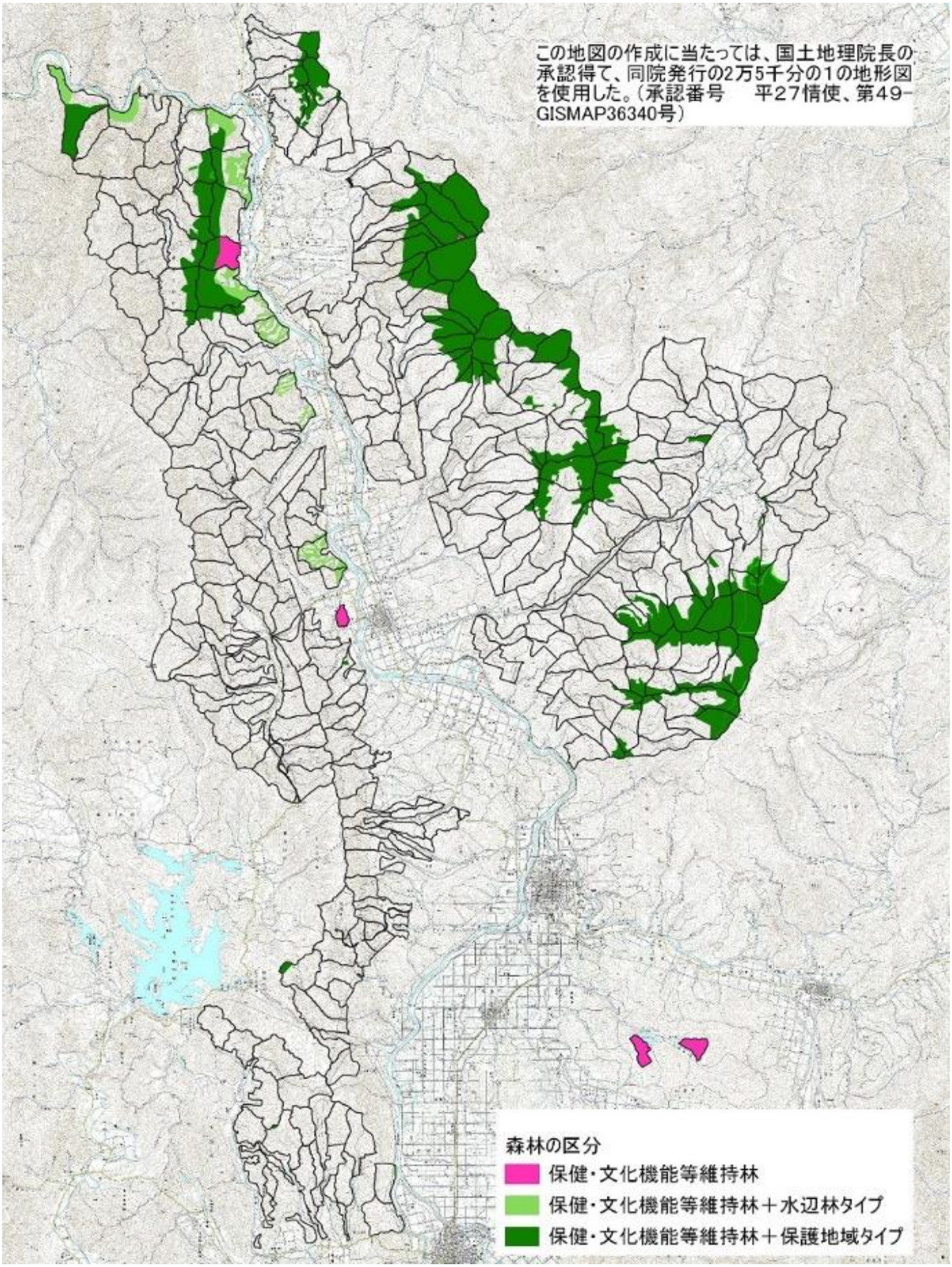
（2）山地災害防止林の区域



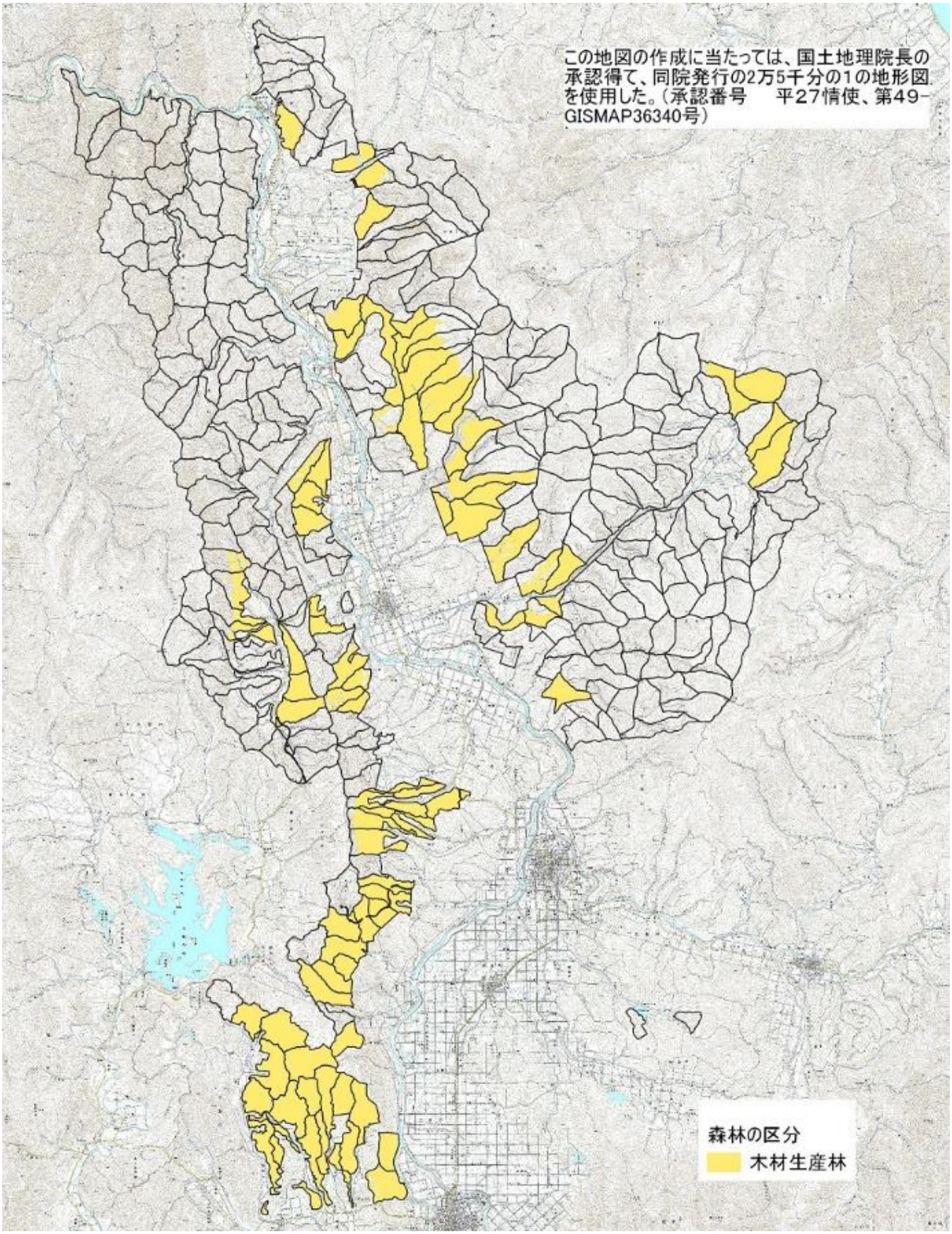
（3） 生活環境保全林


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1の地形図を使用した。（承認番号平27情使、第49-GISMAP36340号）
設 定 な し

（4） 保健・文化機能等維持林の区域

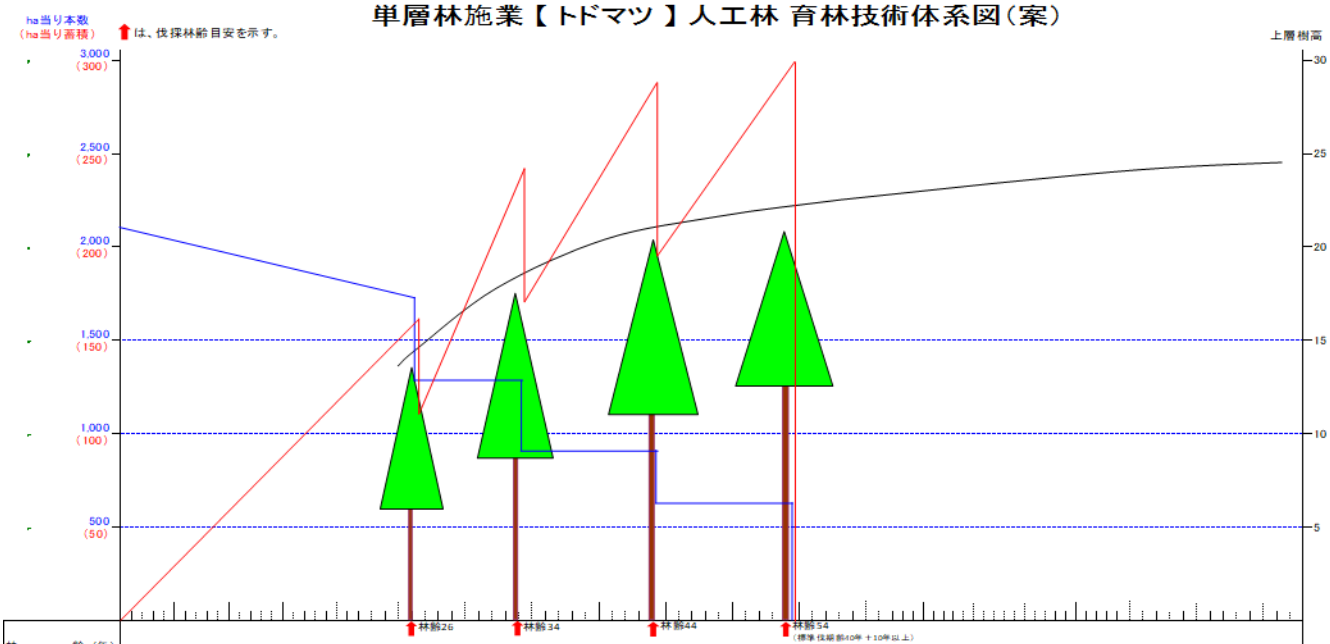


（5） 木材等生産林の区域


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認得て、同院発行の2万5千分の1の地形図を使用した。（承認番号　平27情使、第49-GISMAP36340号）
森林の区分
木材生産林

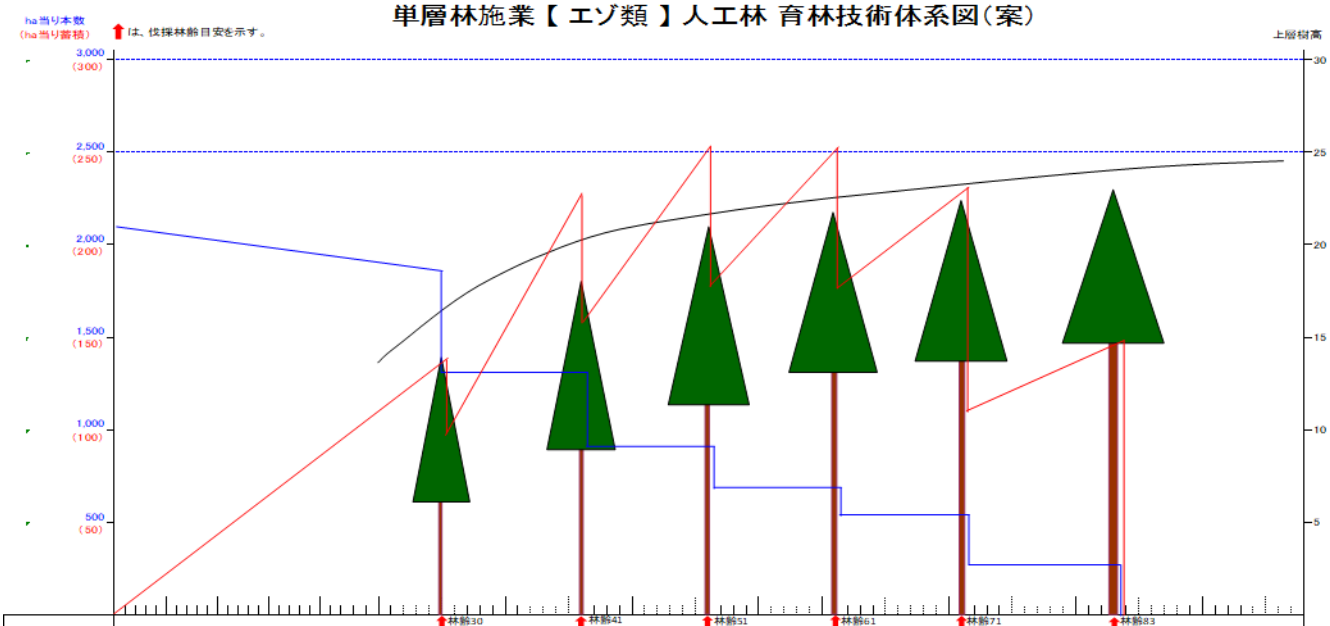
5　人工林育林体系図

単層林施業【トドマツ】人工林 育林技術体系図(案)



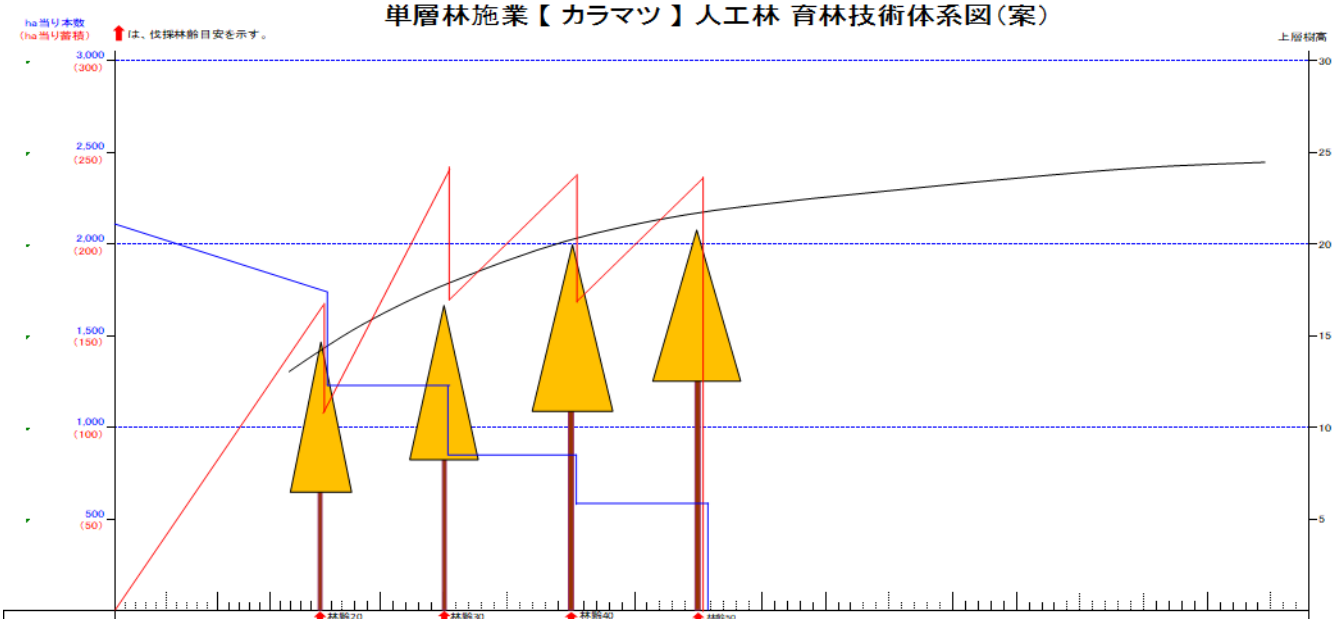
林齢（年）			25	35	45	55
上層高（m）			14m	18m	21m	21m
伐採前	本数（本）（ ）は植込み本数	2200本	1740本	1300本	910本	640本
	平均的径級（cm）		14cm	20cm	24cm	28cm
	蓄積（m³）		160m3	242m3	278m3	298m3
除間伐	回数（回）		間伐1（利用促進）	間伐2（利用）	間伐3（利用）	主伐 1
	本数伐採率		25%	30%	30%	100%
	材積伐採率		25%	30%	30%	100%
	面積伐採率 ※対小班面積		－	－	－	100%
	伐採材積（m³）		40m3	72m3	83m3	298m3

単層林施業【エゾ類】人工林 育林技術体系図(案)



林齢（年）			30	40	50	60	70	85
上層高（m）			13m	16m	18m	20m	22m	23m
伐採前	本数（本）（ ）は植込み本数	2200本	1860本	1300本	910本	680本	510本	260本
	平均的径級（cm）		14cm	18cm	22cm	26cm	28cm	34cm
	蓄積（m³）		138m3	226m3	252m3	251m3	231m3	149m3
除間伐	回数（回）		間伐1（利用促進）	間伐2（利用）	間伐3（利用）	間伐4（利用）	間伐5（利用）	主伐 1
	本数率（%）		30%	30%	25%	25%	50%	100%
	材積率（%）		30%	30%	30%	30%	50%	100%
	面積伐採率 ※対小班面積		－	－	－	－	－	100%
	伐採材積（m³）		41m3	68m3	76m3	75m3	116m3	149m3

単層林施業【 カラマツ 】人工林 育林技術体系図（案）



林齢（年）																									

６　主な保全施業林分及び特別施業林分の現況

道有林の整備・管理上、多種多様な森林を目的別、施業方法別に次のとおり分類している。

（１）保全施業林分

ア　保護林

希少性又は特異性を有している森林を恒久的に保存し、施業の参考とする。

名　称	目　的	林小班	面積（ha）	蓄　積		設定年
				針葉樹	広葉樹	
広葉樹二次林保護林	広葉樹幼齢林分の林相遷移の考察	2-03	4.86	501	1,657	S.51
仁宇布針葉樹保護林	仁宇布天然林の林相遷移の考察	106-19	4.31	996	465	S.51
物満内広葉樹保護林	物満内天然林の林相遷移の考察	214-12	3.97	865	715	S.51
物満内アカエゾマツ保護林	蛇紋岩地帯におけるアカエゾマツ天然林の林相遷移の考察	214-13	4.64	1,165	51	S.51
ミズナラ保護林	ミズナラ優良林分の保護 ※平成 18 年度、生物多様性保全の森林（貴重な森林）に指定	313-30	4.30	202	796	S.50

イ　原生保存林

道内でも有数な寒冷多雪地帯に属する特殊な気象条件下にある原生林を、学術研究用として保存するとともに、調査・観察し将来の森林施業や山づくりの指針とする。

名称	所在市町村	目的	林小班	面積(ha)	設定年
仁宇布原生保存林	美深町	広葉樹幼齢林分の林相遷移の考察 ※平成 18 年度生物多様性保全の森林に指定	90-13	34.72	S.46

（２）特別施業林分

ア　試験林

森林施業に資すべき試験を行っている森林。

自然公園特別地域等に設定した場合、それぞれの施業制限を遵守し試験を行う。

名　称	目　的	林小班	面積（ha）	蓄　積		設定年
				針葉樹	広葉樹	
広葉樹二次林施業「かき起こし」試験林	広葉樹二次林施業の長期的な施業体系の確立	92-41・43	32.16	201	2,108	S.62
グイマツ雑種 F1 低密度植栽試験林	グイマツ雑種 F1 の低密度植栽による低コスト化と省力化した生産技術の体系化の確立（検定林と重複指定）	311-87	4.32	－	－	H.14
広葉樹二次林施業試験 （上北－01）	トドマツ不成績人工林に侵入したカンバ類の施業方法を明らかにする	283-61 284-56	16.96 25.60	－	－	H.7
ダケカンバ密度試験林 （上北－02）	直径成長への間伐効果を検証	324-59	13.60	－	－	S.59

名　称	目　的	林小班	面積（ha）	蓄　積		設定年
				針葉樹	広葉樹	
立枯れ木現存量調査（上北－03）	立枯れ木を個体識別して長期的な動態を把握	90-13	34.72	－	－	H.20
針広混交林の間伐試験地（上北－04）	広葉樹が侵入したトドマツ枝枯病激害林分の混交林化の経過と施業方法を検討	276-62	0.50	－	－	S.58

注）（上北－＊＊）は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（森林研究本部）と協定を締結した試験研究フィールド
独立行政法人北海道立総合研究機構との協定に基づき施業を行います。

イ　検定林

育種種苗の成長、形質、耐寒性等の検定を行っている森林。

名称	林小班	面積（ha）	蓄　積		設定年	備　考
			針葉樹	広葉樹		
トドマツ精英樹次代検定林（上北-検定林）	242-69	1.28	－	－	S.55	
アカエゾマツ精英樹次代検定林（上北-検定林）	81-55	1.28	－	－	S.61	
グイマツ雑種F1低密度植栽実証林（上北-検定林）	311-87	4.32	－	－	H.15	試験林と重複

注）（上北－検定林）は地方独立行政法人北海道立総合研究機構（森林研究本部）と協定を締結した試験研究フィールド

ウ　採種林（遺伝子保存林）

種子の採取を目的とした森林で、林業種苗法による指定を受けていない森林（採種林）。

または、林木育種事業を計画的に進めるため、現存する林木の優良遺伝子群を確保、保存するために設定された森林（遺伝子保存林）。

名　称	林小班	面積（ha）	蓄　積		設定年	備　考
			針葉樹	広葉樹		
※該当なし						

エ　母樹林

有用広葉樹種子採取源整備事業により有用広葉樹の種子採取を目的として指定された森林。

自然公園特別保護地域等に設定した場合、それぞれの施業制限を遵守し採取を行う。

林小班	樹　種	面積（ha）	蓄　積		設定年	備　考
			針葉樹	広葉樹		
※該当なし						

オ　採種園

育種種子の採取を目的として設けた園地。

名　称	林小班	樹種	面積（ha）	設定年	備　考
※該当なし					

カ　分収造林

分収造林契約に係わる森林。

保安林に指定された場合には、その施業要件を遵守しながら施業を行う。また、自然公園特別地域等に造成した場合、それぞれの施業制限を遵守し施業を行う。

林小班	樹　種	面積(ha) 上段:植栽地 下段:その他	蓄積 上段:N 下段:L	植栽年月日 設定年月日	契約期間 (自) (至)	分収 割合	備　考
264-52 264-53	トドマツ	40.00 3.52	3,087 688	S.54. 5. 1 S.53.12. 5	S.54. 4. 1 R20. 3.31	道　1 造林者9	

キ　分収育林

分収育林契約に係わる森林。

保安林に指定された場合には、その施業要件を遵守しながら施業を行う。

林小班	樹　種	面積(ha) 上段:植栽地 下段:その他	蓄積 上段:N 下段:L	植栽年月日 設定年月日	契約期間 (自) (至)	分収 割合	備　考
※該当なし							

7　管理及び計画の沿革

（1）管理の沿革

年　度	沿　革　の　概　要
明治39年	国より模範林として旧天塩事業区が譲渡される。同時に士別村士別及び名寄村風連に、模範林監護員駐在所新設。
明治40年	士別駐在所は地方費森林士別事務所と改称。風連監護員駐在所は、その所管となる。
明治44年	国より地方費公有林として、旧仁宇布事業区が譲渡される。同時に地方費森林士別事務所の所管の下に、美深監護員駐在所新設。
大正　元年	国より地方費公有林として、旧美深事業区が譲渡される。それと共に西美深監護員駐在所新設。風連監護員駐在所を名寄に移転し、名寄監護員駐在所と改称する。
大正　9年	国より地方費公有林として、旧咲来事業区、旧物満内事業区が譲渡される。同時に咲来監護員駐在所新設。
大正10年	地方費森林士別事務所を名寄に移し、地方費森林名寄事務所と称す。恩根内監護員駐在所新設、美深監護員駐在所を廃止し、西美深、東美深監護員駐在所を設置する。
大正12年	地方費森林名寄事務所を名寄森林事務所と改称。同時に各監護員駐在所を分区員駐在所と改称。
昭和　5年	現名寄林務所管内智恵文に分区員駐在所新設。東西美深分区員駐在所を合わせ、美深分区員駐在所とする。
昭和10年	仁宇布分区員駐在所新設。
昭和17年	4月1日現美深経営区管内を名寄森林事務所から分離、美深森林事務所新設。分区員駐在所はそのまま美深、仁宇布、恩根内、咲来の4所となる。 11月1日告示第122号による林政機構改革に伴い、森林事務所は廃止され、旭川営林区署美深営林作業所と称し、各分区員駐在所は、それぞれ担当区駐在所と改称される。また、名寄森林事務所は旭川営林区署名寄営林作業所に改称される。
昭和18年	9月1日告示第1028号による第二次林政機構改革に伴い、名寄営林区署が新設され、同時に名寄営林区美深出張所となる。
昭和19年	天塩営林区佐久事業所管内と旭川営林区署の剣淵、和寒、温根別の各事業所管内を名寄営林区署へ移管する。
昭和20年	4月1日林政機構簡素化に伴い出張所は廃止、美深事業所と改称。

昭和22年	5月1日林政統一により、宮内省所管の御料林と内務省所管の北海道国有林は、農林省移管により名寄営林区署は名寄第一営林署に、美深事業所は名寄第一営林署美深事業所と改称される。 10月1日国有林と分離、名寄林務署が新設される。同時に名寄林務署美深事業所が設置され、名寄、士別、智恵文、美深、仁宇布、恩根内、咲来の各担当区員駐在所はそれぞれ駐在所となる。
昭和23年	林政部は林務部となり、林務部道有林課所管となる。
昭和24年	4月1日美深林務署が設置され、同時に辺渓、紋穂内、音威子府駐在所増設、恩根内駐在所を東西に分割、8駐在所となる。また、名寄林務署は士別、名寄、智恵文の3駐在所となる。
昭和37年	4月5日紋穂内駐在所を西里駐在所と改称、美深駐在所を川西、玉川駐在所に分割、9駐在所体制となる。また、天塩事業区、仁宇布事業区は名寄経営区となる。温根別駐在所を設置する。
昭和44年	4月1日咲来駐在所、音威子府駐在所を廃止し、音威子府支署新設。 8月1日駐在所を事業所と改め、川西、辺渓、仁宇布、西里、恩根内の5事業所となる。また、温根別事業所を士別事業所に統合する。
昭和47年	5月18日事業所統廃合により、美深、川西、仁宇布、恩根内の4事業所となる。また、智恵文事業所を名寄事業所に統合する。
昭和53年	智恵文作業所を廃止する。
昭和54年	温根別作業所を廃止する。
昭和56年	名寄苗畑を廃止する。（名寄市に売却）
昭和58年	西士別作業所を廃止する。
昭和59年	智恵文苗畑を廃止する。（昭和61年、智恵文農協に売却）
昭和63年	4月1日事業所統廃合により、恩根内を川西と統合し、美深、川西、仁宇布の3事業所となる。西風連作業所、士別事業所を廃止する。
平成 4年	4月1日機構改革により、事業所、苗畑作業所を廃止。仁宇布事業所廃止に伴い、仁宇布作業所を設置。
平成 6年	4月1日機構改革により、美深林務署を美深道有林管理センターと改称し、名寄林務署を美深道有林管理センター名寄林務署と改称する。
平成 7年	6月1日の機構改革により、音威子府支署廃止。
平成 9年	4月1日会計方式が企業会計から特別会計に移行される。
平成12年	3月31日仁宇布作業所廃止。
平成14年	美深道有林管理センターを上川北部森づくりセンターと改称。
平成22年	上川北部森づくりセンターを上川総合振興局北部森林室と改称。

（２）　計画策定の沿革

名　　称	設定年度	区域	面積	実行期間 期　間	実行期間 年数	備　考
策定案	明治40年	旧天塩事業区		明治41年～大正 5年	10	
第1次検討案	大正 4年	〃		大正 6年～大正15年	10	
第2次検討案	大正14年	〃	14,365.30	昭和 2年～昭和11年	10	
第3次検討案	昭和11年	〃	14,025.25	昭和12年～昭和21年	10	
応急森林調査植伐案	昭和21年	〃				
第4次検討案	昭和23年	〃	14,005.90	昭和24年～昭和27年	4	本案は名寄林務署管内では29年まで実行されたが、美深林務署管内では、美深事業区27年検討案以降、美深事業区と合併立案された。
策定案	明治42年	旧仁宇布事業区				
第1次検討案	大正 5年	〃		大正 6年～大正15年	10	
第2次検討案	大正15年	〃	26,584.05	昭和 2年～昭和11年	10	
第3次検討案	昭和11年	〃	26,580.70	昭和12年～昭和18年	7	
第4次検討案	昭和18年	〃	26,580.70	昭和19年～昭和23年	5	
臨時収穫造林基案	昭和23年	〃	26,584.01	昭和24年～昭和26年	3	
第5次検討案	昭和26年	〃	25,850.35	昭和27年～昭和31年	5	
一部修正案	昭和28年	〃		昭和29年～昭和31年	3	奥地Ⅴ、Ⅷ伐採列区を対象
第6次検討案	昭和31年	〃				
策定案	明治43年	美深事業区	16,492.91			始めウリルベシュベと称す。大正元年地方費公有林となるも、施業案は国有林時代を踏襲。
（第1次検討案）	大正 7年	〃				第1次検討案に着手するも完成せず、地方費森林名寄事務所調整。
未立木地造林十ヶ年計画案	大正10年	〃				
研伐計画案	大正14年	〃				
第1次検討案	昭和 2年	〃	16,533.85	昭和 3年～昭和13年	10	
第2次検討案	昭和13年	〃	16,533.85	昭和14年～昭和23年	10	
第3次検討案	昭和23年	〃	16,533.85	昭和24年～昭和27年	4	
臨時検討案	昭和27年	〃	16,677.12	昭和28年～昭和31年	4	名寄町所在の公有林を天塩事業区と合併施行させ美深町所在の模範林天塩事業区の分を美深事業区と合併施業。
施業案	明治43年	咲来事業区				国有林当時、物満内と同一事業区
策定案	大正 9年	〃	18,278.24	大正10年～昭和 5年	10	
第1次検討案	昭和 5年	〃	19,364.23	昭和 6年～昭和15年	10	
第2次検討案	昭和17年	〃	19,177.40	昭和16年～昭和23年	8	検討期を過ぎてから策定。
臨時収穫造林基案	昭和23年	〃	19,177.40	昭和24年～昭和27年	4	
第3次検討案	昭和27年	〃	19,013.76	昭和28年～昭和29年	2	
修正案	昭和29年	〃		昭和30年～昭和31年	2	保安林の異動のため。
施業案	明治43年	物満内事業区				国有林当時、旧咲来事業区と同一事業区。
策定案	大正10年	〃	8,915.63	大正11年～昭和 6年	10	
第1次検討案	昭和 5年	〃	9,031.55	昭和 7年～昭和16年	10	

第2次検討案	昭和17年	〃	9,618.64	昭和17年～昭和23年	7	
臨時収穫造林基案	昭和23年	〃		昭和24年～昭和27年	4	
第3次検討案	昭和27年	〃	9,572.03	昭和28年～昭和31年	4	
策定案	昭和32年	全事業区	67,011.13	昭和32年～昭和34年	3	林力増強計画により、従来の事業区単位の立案をやめ、林務署1本の計画とした。
第1次修正案	昭和35年	〃	67,011.13	昭和35年～昭和36年	2	上記計画は32、33年の2カ年にわたり全道有林の計画を樹立したので、34年以降の5カ年で全道有林を一巡するように計画された。
第2次修正案	昭和36年	〃		昭和37年	1	第2次林局増強計画（37～41）策定による。
臨時修正案	昭和32年	天塩・仁宇布事業区	14,979.87	昭和32年～昭和36年	5	第1次林力増強計画。天然生林施業方針（昭和33年）
第1次修正案	昭和36年	〃	14,979.87	昭和37年	1	
第1次経営計画	昭和37年	美深第１経営区	39,712.72	昭和38年～昭和42年	5	第2次林力増強計画により、林務署分割の含みで第2経営区に分割。
第1次経営計画	昭和37年	美深第２・名寄経営区	42,258.99	昭和38年～昭和42年	5	名寄経営区は昭和41年。
第1次変更計画	昭和38年	美深第１・第２経営区	2,070.00	昭和39年～昭和41年	3	経済界の変動に伴い一部修正。
第2次変更計画 （第1次変更計画）	昭和41年	美深第１・第２経営区 （名寄経営区）	1,330,00 (15,001.64)	昭和42年 昭和４２年（昭和４３年～昭和45年）	1	昭和41年策定（実行42～46年）の道有林経営5カ年計画の第1年度応急対策（経営5カ年計画） モノマナイ地区の地形急峻、林道未整備のための事業費造高により一部変更。
第3次変更計画 （第2次変更計画）	昭和42年	美深第２経営区 （名寄経営区）	383.00 (14,830.10)	昭和43年～昭和45年		上川北部森林計画区、地域森林計画の一環として美深経営区に係る第2次経営計画。天然林施業方針（昭和43年）
第2次経営計画	昭和42年	美深経営区	66,957.00			
昭和46年経営計画	昭和45年	美深・名寄経営区	81,475.87	昭和46年～昭和47年	2	第2次道有林経営5カ年計画は、第3期北海道総合開発計画に合わせ、昭和46年度から実行となったため。尚、この計画により明治以来本庁で作業にあたっていた計画関係を林務署で行うようになった。
第1次変更計画	昭和47年	美深経営区	66,603.72	昭和48年～昭和50年	3	人工林の生育状況と要改良林分の環境条件、立地因子等を検討した結果、造林成績に不安があり、皆伐作業種の編入基準、施業方法の変更が必要となったため。択Ⅱ林分の取り扱いについて（昭和48年）
第1次変更計画	昭和48年	名寄経営区	14,883.20	昭和48年～昭和50年	3	第2次道有林経営5カ年計画。
第2次変更計画	昭和50年	美深経営区	66,603.72	昭和50年	1	昭和50年度の製品生産事業量増に伴う分期箇所の追加編入。
臨時策定	昭和50年	美深・名寄経営区	81,602.92	昭和51年	1	第2次道有林5カ年計画（47～51年）の関連により、単年度策定。
昭和52年経営計画	昭和51年	美深・名寄経営区	81,592.92	昭和52年～昭和54年	3	
第1次変更計画	昭和55年	美深・名寄経営区	81,595.40	昭和55年～昭和56年	2	気象害への配慮から、安全確実な

						更新を図るための皆伐作業の施業方法の一部変更と、人工林間伐、上木伐採の実施により収穫量に変動が生じたため。
昭和57年経営計画	昭和56年	美深経営区	66,605.00	昭和57年～昭和59年	3	
昭和57年経営計画	昭和56年	名寄経営区	14,986.24	昭和57年～昭和61年	5	道有林基本計画、昭和56年3月、28林班の農業用貯水池売払い2．9ha。
第1次変更計画	昭和59年	美深経営区	66,605.00	昭和60年～昭和61年	2	松山下林道計画による収穫箇所の変更。
昭和62年経営計画	昭和61年	美深経営区	66,600.00	昭和62年～平成 2年	4	
昭和62年経営計画	昭和61年	名寄経営区	14,987,68	昭和62年～平成 元年	3	道有林基本計画
第1次変更計画	平成 元年	美深経営区	66,600.00	平成 2年～平成 3年	2	施業方法の一部見直しによる変更。
第1次変更計画	平成 2年	名寄経営区	15,002.40	平成 3年	1	収穫箇所及び事業計画の変更。森林施業の指針（平成3年）
平成4年経営計画	平成 3年	美深・名寄経営区	81,590.40	平成 4年～平成 8年	5	道有林基本計画
平成9年経営計画	平成 8年	美深・名寄経営区	81,589.40	平成 9年～平成 9年	1	道有林基本計画
第1次変更計画	平成10年	美深・名寄経営区	81,586.08	平成10年～平成12年	3	治山事業施行地における施業規則の変更
第2次変更計画	平成12年	美深・名寄経営区	81,586.08	平成13年	1	人工林間伐及び保育伐の面積の変更。路網計画延長の変更
平成14年整備管理計画	平成13年	上川北部管理区	81,585.44	平成14年～平成17年	4	道有林基本計画、道有林の森林施業指針（案）.美深・名寄経営区を統合し上川北部管理区とする。
第1次変更計画	平成17年	上川北部管理区	81,586.44	平成18年	1	人工林間伐及び保育伐の面積の変更。路網計画延長の変更
平成19年整備管理計画	平成18年	上川北部管理区	81,586.44	平成19年～平成24年	6	道有林基本計画、平成22年9月、113林班仁宇布の冷水とその周辺部0．17haを美深町へ売り払い。
平成25年整備管理計画	平成24年	上川北部管理区	81,590.40	平成25年～平成28年	4	道有林基本計画
平成29年整備管理計画	平成28年	上川北部管理区	81,558.66	平成29年～令和3年	5	道有林基本計画、「北海道森林づくり基本計画」の策定に合わせ、道有林基本計画の策定を1年前倒し。
令和４年整備管理計画	令和3年	上川北部管理区	81,558.66	令和4年～令和13年	10	道有林基本計画